

久伸居士（ひさのぶ）小説家。元治二年一月生れ。明治二十年八月十日歿（二八五―九七）。本名堺乙權。別名本まき乙權。別號あづび、桃雨子。明治十五年本まき家の養子となるも、のち堺姓に復す。慶應義塾に學ぶ。大阪の新聞記者、また浪華文學會創設に参劃し、機關誌『あづび』の編輯に従事。堺利彦の兄。

著書『別名まき乙權紅梅』（明治二十六年九月十二日大阪・中村鍾美堂）、『南蠻鐵』（明治二十七年二月八日大阪・金川書店）等。

